

ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）を取り入れた新館を建築

当社は、創業140周年を機に新事務所計画を開始し、そこで取り入れたZEB手法は、働く社員のケーススタディとなり、お客様のZEBへの取り組みを積極的にご支援できるとともに、昨年度より活動を開始したSDGsへの具体的な取り組みとして、ZEB建築を開始いたしました。（完成予定2025.10）

また、事業継続計画（BCP）対策として、免震構造及び蓄電池により緊急時対応を強化します。

今後はZEB化で得られた知見・経験を業務に生かし、社会全体での脱炭素に貢献できるよう取り組んで参ります。

ZEBコンセプト

本事業にて取り組むテーマは次の通りです。

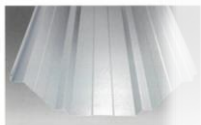
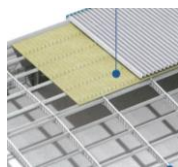
- ・パッシブ技術 外皮性能として、高断熱性能を持つ外壁材を使用、屋根はグラスウール断熱材を小屋組み及び天井内に使用し遮熱性能を確保、窓には高性能Low-eガラスを使用する事による空調負荷軽減
- ・省エネ技術 高効率設備・省エネ型第一種換気設備を導入し省エネを実現 デマンド監視により使用料の制御及びムダ削減
屋根上太陽光発電システムによって再生可能エネルギーの利用、蓄電池による創蓄連携システムを導入
- ・BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）認定取得

パッシブ技術

空調負荷軽減のための外皮性能

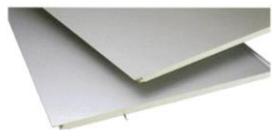
屋根

ガルバリウム鋼板 t0.6 + グラスウール断熱材 t50mm 熱貫流率 $0.68W/m^2K$



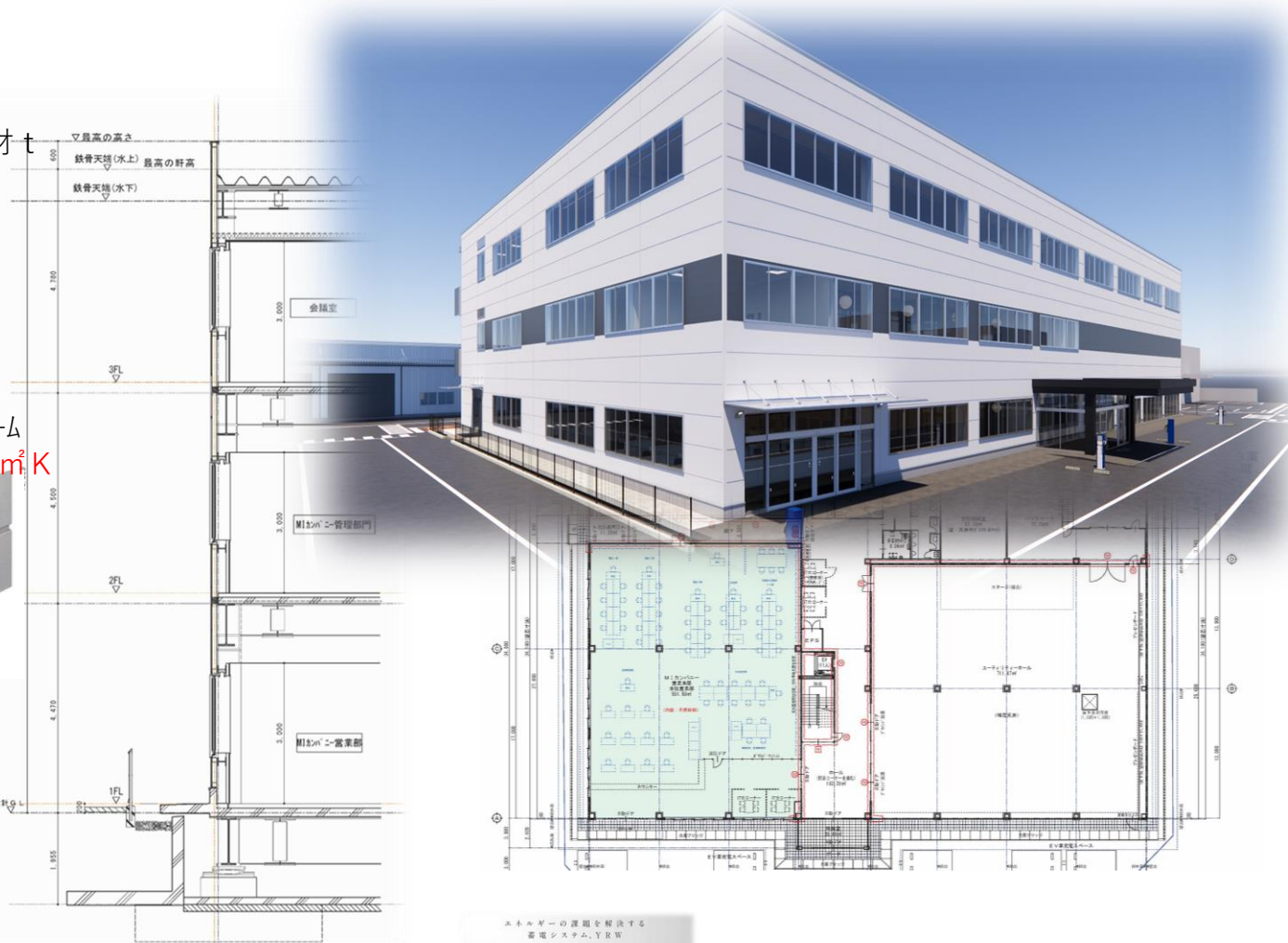
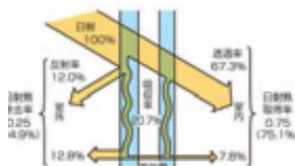
外壁

ガルバリウム鋼板 + 高断熱イソシアレートフォーム サンドイッチパネル t25 熱貫流率 $0.79W/m^2K$

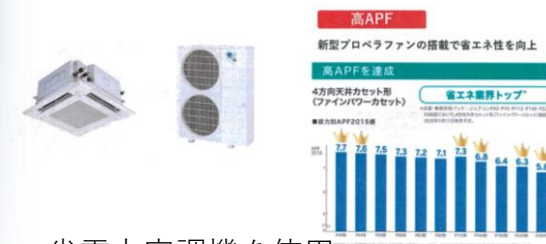


窓

Low-eガラス t6 + air12 + t6 熱貫流率 $1.6W/m^2K$



省エネルギー



省電力空調機を使用



省電力高性能全熱交換機を使用
空調負荷を軽減

LED照明器具、調光制御システムの採用による消費電力を軽減

創エネルギー



太陽光モジュール480w × 650枚
設備容量（DC）312KW
ZEB達成基準出力310KW

事業継続計画（BCP）

地下ピットに免震装置を採用
自然災害に対応



蓄電池設備を採用
電池容量237kw h